

場面緘黙質問票 (SMQ-R)

名前 () (年生 歳 ヶ月) 記入日 (年 月 日)

お子さんのこの2週間の行動についておうかがいします。次の各文について、どれがあてはまるかお答え下さい。

(0 全くない・1 まれにある・2 よくある・3 いつも)

A 幼稚園や学校

- ① () 必要に応じて、たいていの同級生と学校で話す
- ② () 必要に応じて、特定の同級生(友達)と学校で話す
- ③ () 先生の問いに、声を出して答える
- ④ () 必要に応じて、先生に質問する
- ⑤ () 必要に応じて、たいていの先生や学校職員と話す
- ⑥ () 必要に応じて、グループの中やクラスの前で話す

A計 () 点

B 家庭や家族

- ⑦ () 必要に応じて、よその人が家にも家族と話す
- ⑧ () 必要に応じて、慣れない場所でも家族と話す
- ⑨ () 必要に応じて、同居していない親戚の人(例えば、祖父母やいとこ)と話す
- ⑩ () 必要に応じて、親や兄弟と電話で話す
- ⑪ () 必要に応じて、家族でつき合いのあるよく知っている大人と話す
- ⑫ × () 必要に応じて、家で特定の友達と遊ぶとき話す(←得点に含めない※)

B計 () 点

C 社会的状況(学校の外)

- ⑬ () 必要に応じて、知らない子どもと話す
- ⑭ () 必要に応じて、家族の知り合いだが知らない大人と話す
- ⑮ () 必要に応じて、医者や歯医者と話す
- ⑯ () 必要に応じて、買い物や外食でお店の人と話す
- ⑰ () 必要に応じて、おけいごとや学校外のサークル活動で話す

C計 () 点

参考: SMQ-R の得点平均※※

合計	場面緘黙児 平均	他児平均
A計 () 点	A計 幼稚園や学校 1.8	15.9
B計 () 点	B計 家庭や家族 8.5	14.5
C計 () 点	C計 社会的状況 1.7	12.5
SMQ-R () 点	SMQ-R 12	43

※ Bergman(2008)の SMQ 原文の⑫は「ベビーシッターのうち少なくとも1人と話す」だが、SMQ-Rの⑫では「必要に応じて、家で特定の友達と遊ぶとき話す」とした。ただし、得点には含めない。

※※ Bergman(2008)の SMQ17 項目の平均得点を SMQ-R 16 項目に修正した平均得点を示す。対象年齢は3才~11才。他児とは、DSM-IV 診断基準で場面緘黙には該当しないが、不安障害に当たる子どもの群。